

富山市教育委員会会議録

令和4年11月定例会

- 1 日 時 令和4年11月18日（金曜日）
午後 15時00分 開会
午後 16時10分 閉会
- 2 場 所 Toyama Sakura ビル5階 中会議室
- 3 出席委員 教 育 長 宮 口 克 志
委 員 若 林 啓 介
委 員 藤 井 久 丈
委 員 尾 畑 納 子
委 員 高 田 健
- 4 説明のために出席した者
事務局長 砂 田 友 和
事務局次長（総務・社会教育担当） 古 西 達 也
事務局次長（学校教育担当） 竹 脇 孝 志
教育総務課長 本 郷 由 佳
学校再編推進課長代理 高 岡 太 郎
学校施設課長 高 瀬 雅 基
学校教育課長 川 端 紀代美
学校保健課長 宮 前 仁
生涯学習課長 高 橋 祐 子
教育センター所長 河 原 弘 幸
市民学習センター次長 寺 島 優 子
科学博物館長 水 高 清 志
大沢野生涯学習センター所長 中 村 忠 成
- 5 職務のため会議に出席した事務局職員
教育総務課主幹 大 島 聡
教育総務課長代理 余 川 毅
教育総務課管理係長 河 西 麻里子
- 6 傍聴人数 0人

7 付議案件

(1) 議 案

- 議案第30号 大沢野幼稚園及び大久保幼稚園の閉園について
- 議案第31号 令和4年12月市議会定例会に付議する令和4年度補正予算案に対する教育委員会の意見について
- 議案第32号 工事請負契約締結（西部中学校校舎改築（その2）主体工事）に関する教育委員会の意見について
- 議案第33号 富山市立学校設置条例の一部改正に関する教育委員会の意見について
- 議案第34号 富山市公民館条例等の一部改正等に関する教育委員会の意見について
- 議案第35号 富山市公民館条例の一部改正に関する教育委員会の意見について
- 議案第36号 富山市立幼保連携型認定こども園条例の一部改正に伴う富山市立学校設置条例の一部改正に関する教育委員会の意見について
- 議案第37号 富山市大沢野会館条例制定に伴う富山市大沢野生涯学習センター条例廃止に関する教育委員会の意見について
- 議案第38号 富山市大山会館条例制定に伴う富山市公民館条例及び富山市立図書館条例の一部改正に関する教育委員会の意見について

(2) 報告事項

- 報告事項33 令和3年度富山市立小中学校の問題行動等調査の結果について
- 報告事項34 令和5年度富山市立中学校学校選択制 通学区域外からの入学希望者数及び抽選実施校について

8 会議の要旨

【開会】

- [教育長] 開会を宣言する。
本日は、委員が全員出席しているため、会議は成立している。

【前回会議録について】

- [教育長] 10月教育委員会定例会会議録について意見等を求める。
[各委員] (意見なし)

[教育長] 意見なしのため、前回会議録は承認された。

【非公開案件について】

[教育長] 議案第31号～38号は、12月市議会定例会に付議される案件であるが、市議会への議案説明がまだ行われていない。よって、非公開としたいが、よろしいか。

[各委員] 異議なし。

[教育長] 承認を得られたので、議案第31号～38号については非公開とし、報告事項34の後に行うこととする。

【議案第30号】

[教育長] 議案第30号について事務局から説明を求める。

[学校再編推進課長代理] (議案第30号について説明)

[教育長] ただ今の件について、質問等あるか。

[各委員] 質問等なし。

[教育長] 採決を行う。議案第30号について、異議があるか。

[各委員] 異議なし。

[教育長] 異議なしと認める。よって議案第30号については原案どおり可決した。

【報告事項33】

[教育長] 報告事項33について事務局から説明を求める。

[学校教育課長] (報告事項33について説明)

[教育長] ただ今の件について、質問等あるか。

[藤井委員] いじめの解消には時間がかかるという説明だったかと思う。いじめを解消するためには、時間を取り、子ども同士あるいは親同士がコミュニケーションを取る必要があると思うが、コロナの影響でそれらができず、解消に時間がかかっているということはあるのか。

[学校教育課長] コロナの影響について、はっきりとした分析ができていない。ただ、いじめの解消に至ったかどうかの把握を行うにあたり、保護者や子どもたちの状況を知るためのコミュニケーション

が取りにくくなっていることはあると考えている。

[若林委員]

不登校児童生徒数の動向を見ると、コロナに関わらず、右肩上がり
で増加してきている。平成28年度から令和3年度まで一度も減
少していないが、理由の分析はできているのか。また、令和4年度
の動向はどのようなのか。原因が分からなければ対策は難しい。全国的
にも同じような動向だと思うが、富山市はさらに不登校児童生徒
の出現率が高い。何か分析していることがあれば教えて欲しい。

[学校教育課長]

不登校の要因について、一人一人がどのような状況にあるかとい
う報告は受けているが、非常に複雑化してきており、理由も一つに
限定できない。コロナの影響は少なからずあると感じている。
子どもを無理に学校に来させることだけを目的にするのではなく、
子ども自身の居場所をどのように創出していくのか模索しながら
支援を行っていることも、出現率増加の要因の一つになっている
と考えている。例えば、学校の相談室などへ向かう以外にも、フ
リースクールへ行くことや、オンラインで繋がる方法を模索して
おり、そのことが数値に表れていると感じている。

[若林委員]

原因がどこにあるのか釈然としないが、子どもを学校へ行かせる
ことよりも、年齢に応じた能力を身に付けさせることの方が重要
である。不登校児童生徒の出現率はコロナ禍前から右肩上がり
である。コロナの有無にかかわらず、何か問題があるように思う。
問題の原因が分からなければ、対策は難しい。

我々が子どもの頃は、学校は行くもの、親は子どもを学校へ行かせ
るものという認識だったが、最近は行きたくなければ行かなくて
も良いという風潮がある。しかし、学校へ行かなければ、年齢や学
年に相応しい能力を身につけることは困難になると思う。

学校へ行くか行かないかよりも、そちらの方を主体的に考えて、何
か手を打つことはできないだろうか。深刻な問題だと思う。

[藤井委員]

私たちが子どもの頃は学校へ行くことが前提であった。子どもが
本当に幸せで良い状態なのであれば、学校へ行かないことも一つ
だと思うが、家にいる子どもの状態をどのように把握するのか。
その子自身が、他にやることがあったり、家にいることが楽しいと
考えるのであればよいが、学校へ行くべきかどうか、判断できる年
齢とできない年齢はあると思う。例えば1～2年生は学校へ行っ
た方がよい、3年生になったら学校以外の場所も考えるなど、判断
の区切りや考え方はあるのか。

[学校教育課長]

学年を区切るという考え方より、一人一人の状況に応じて対応し
なければならないというのが現状だと思う。低学年は、保護者の子
どもへの関わりも大きく影響するので、保護者も含めて、一人一人

- の状況を把握し、学校や教育委員会が対応している。
- [藤井委員] 家での子どもの状況は、どのように把握しているのか。
- [学校教育課長] 担任を中心に、管理職や生徒指導、スクールカウンセラーなどが定期的に子どもとコンタクトを取るように努めている。以前は電話が中心であり、家庭訪問なども行っていたが、現在はICTを使っている学校も増えてきている。一人1台端末も配布されているので、放課後にオンラインで繋ぎ、担任と顔を見て話すことができる子どももいるという報告を受けている。そのような可能性を、一つ一つ丁寧に探っていかなければならないと考えている。
- [尾畑委員] 「無気力・不安」が多いのは、原因がはっきりせず、分析しにくいものが多く、対策を講じにくいということを示していると思う。不登校児童生徒数について、市全体の学校に広く顕在しているのか、それとも地域によって偏りはあるのか。
- [学校教育課長] 地域によって偏りがあるとまでは言えない。
- [尾畑委員] どの地域でも同じような傾向であれば、社会や家庭などに共通の要因と思われるし、偏在しているのであれば、多い地域の原因を分析すれば良いと思う。コロナの影響もあると思うが、少しずつ増加していることについては、分析が必要だと思う。
- 中学生は学業不振なども影響すると思うが、どちらかといえば、人間関係が原因であることが多いのではないかと想像している。「無気力・不安」の原因が分かり、整理することができれば、カウンセラーなど専門家と打ち合わせをすることで、対策が見えてくるかもしれない。分析が難しいことも理解しているが、もう少し専門家の意見を参考にして解決の糸口を探って欲しい。
- [高田委員] 暴力行為について、小学校の生徒間暴力・器物損壊が増加しているのは、同一の児童が複数回行ったことが要因の一つと考えられるが、令和3年度の器物損壊21件のうち、一番多い児童で何件あったということは分かるのか。
- [学校教育課長] 手持ちの資料が無いので正確な数は分からないが、同一の児童が自分の感情を抑えられず、物にぶつけて破壊してしまうことが複数回あり、件数の増加の要因になっていると把握している。
- [高田委員] どのような物を壊しているのか。
- [学校教育課長] 教室の机や壁、一人1台端末など、教室にある備品を壊すことが多い。
- [高田委員] 壊した物についてはどうなるのか。故意だと思うが、修理や新しい物への買い替えなどの費用の請求は保護者にしているのか。
- [学校教育課長] 保護者との面談等を通して、器物損壊の出来事を伝え、弁償への理解を求めていくよう丁寧に対応している。

- [高田委員] 素直に応じてもらえるものなのか。
- [学校教育課長] ほとんどのケースは、保護者との面談を通して納得され、弁償してもらっている。中には、子ども一人で壊したわけではなく、相手がいる場合もあり、弁護士とも相談し、しっかりと保護者同士で納得してもらえるように丁寧に対応している。
- [尾畑委員] いじめ認知件数が0件の学校が、小学校では6校あるが、何か取り組みがあるのか。良い学校の取り組みがあれば、参考にすればよいと思う。
- [教育長] 不登校等については、教育委員会も学校も、しっかり対応しなければいけないという認識を持って取り組んでいる。スクールカウンセラーやソーシャルワーカーなど、様々な専門家を増員してもらい対応しているが、決め手となるような解決策がなかなか見つからないため苦慮している。
- 近年、保護者との説明会の場や、不登校児童生徒をサポートしたいという会なども充実させながら、専門家と保護者が繋がるような形の構築や、担任が家庭や本人と関係を切らさないよう、継続して取り組んでいるが、残念ながら増加傾向は続いている。今後も継続して危機感を持って、取り組んでいかなければならないと考えている。

【報告事項34】

- [教育長] 報告事項34について事務局から説明を求める。
- [学校教育課長] (報告事項について説明)
- [教育長] ただ今の件について、質問等あるか。
- [尾畑委員] 芝園中学校は、今まで入学希望者数が多かったが今回は減っている。要因は分かっているのか。
- [学校教育課長] 要因は把握していない。
- [藤井委員] 芝園中学校区で子どもの数が減ってきているということなのか、あるいは偶然なのか。
- [学校教育課長] 調べたところ、芝園中学校区の子どもの数が減ったというよりも、市内全体の中学校区で児童数が減っている。芝園中学校の入学希望者が減少したことに関して、それ以外の理由は把握していない。
- [藤井委員] 何年後かに、コロナによる出生数の減少の影響があると思うので、心配である。

[教育長] 以上をもって公開案件に係る議事は終了したが、その他、質問等はあるか。

[各委員] 質問等なし。

[教育長] 非公開案件に移る。傍聴、マスコミの方はご退席願う。

【議案第31号】※非公開案件（10月18日時点、議案説明会開催前）

[教育長] 議案第31号について事務局から説明を求める。

[教育総務課長外] （議案第31号について説明）

[教育長] ただ今の件について、質問等あるか。

[若林委員] 光熱水費等の増額について、当初予算と比較して何パーセントくらいの上昇率になっているのか。来年3月の補正についてもそろそろ議論されている頃ではないかと思うがどうか。

[教育総務課主幹] 今回補正した事業では、当初予算額と比較して約26パーセントの増である。

[若林委員] 現在の状況からすると、更に上がる可能性もあると思われる。

[高田委員] 針原小学校の電話設備更新について、老朽化が原因なのか。

[教育総務課長] 老朽化が原因である。リース期間終了後、設備を買取って使用していたが、今回、急にこのような不具合が生じた。

[尾畑委員] 市立公民館の館名サイン設置等について、公民館と地区コミュニティセンターの統合とはどのようなイメージなのか。

[生涯学習課長] 合併前の旧町村に地区コミュニティセンターというものがあつたが、合併時に公民館に位置付けた経緯がある。例えば、同じ建物である「上滝地区コミュニティセンター」と「上滝公民館」などがある。それを今回統合して、「公民館」とするものである。今回の統合は、地区コミュニティセンター以外にも農村環境改善センターなども含まれている。

[教育長] 全市的に統一した形にしていくと考えてもらえたら良いと思う。

採決を行う。議案第31号について、異議があるか。

[各委員] 異議なし。

[教育長] 異議なしと認める。よって議案第31号については意見なしとする。

【議案第32号】※非公開案件（10月18日時点、議案説明会開催前）

- [教育長] 議案第32号について事務局から説明を求める。
[学校施設課長] （議案第32号について説明）
[教育長] ただ今の件について、質問等あるか。
[各委員] 質問等なし。
[教育長] 採決を行う。議案第32号について、異議があるか。
[各委員] 異議なし。
[教育長] 異議なしと認める。よって議案第32号については意見なしとする。

【議案第33号】※非公開案件（10月18日時点、議案説明会開催前）

- [教育長] 議案第33号について事務局から説明を求める。
[学校再編推進課長代理] （議案第33号について説明）
[教育長] ただ今の件について、質問等あるか。
[各委員] 質問等なし。
[教育長] 採決を行う。議案第33号について、異議があるか。
[各委員] 異議なし。
[教育長] 異議なしと認める。よって議案第33号については意見なしとする。

【議案第34号】※非公開案件（10月18日時点、議案説明会開催前）

- [教育長] 議案第34号について事務局から説明を求める。
[生涯学習課長] （議案第34号について説明）
[教育長] ただ今の件について、質問等あるか。
[若林委員] 分かりやすく言うと、コミュニティセンターという名前の施設は無くなり、全て公民館になるということか。
[生涯学習課長] コミュニティセンターという名前の施設は無くなる。ただ、その他に、公民館ではあるが、会館条例を持っている施設がある。呉羽会館、大久保ふれあいセンターなどがあり、施設が大きく、料金設定も異なっている。
[教育長] 採決を行う。議案第34号について、異議があるか。
[各委員] 異議なし。
[教育長] 異議なしと認める。よって議案第34号については意見なしとする。

る。

【議案第35号】※非公開案件（10月18日時点、議案説明会開催前）

- [教育長] 議案第35号について事務局から説明を求める。
[生涯学習課長] （議案第35号について説明）
[教育長] ただ今の件について、質問等あるか。
[各委員] 質問等なし。
[教育長] 採決を行う。議案第35号について、異議があるか。
[各委員] 異議なし。
[教育長] 異議なしと認める。よって議案第35号については意見なしとする。

【議案第36号】※非公開案件（10月18日時点、議案説明会開催前）

- [教育長] 議案第36号について事務局から説明を求める。
[学校再編推進課長代理] （議案第36号について説明）
[教育長] ただ今の件について、質問等あるか。
[各委員] 質問等なし。
[教育長] 採決を行う。議案第36号について、異議があるか。
[各委員] 異議なし。
[教育長] 異議なしと認める。よって議案第36号については意見なしとする。

【議案第37号】※非公開案件（10月18日時点、議案説明会開催前）

- [教育長] 議案第37号について事務局から説明を求める。
[大沢野生涯学習センター所長] （議案第37号について説明）
[教育長] ただ今の件について、質問等あるか。
[各委員] 質問等なし。
[教育長] 採決を行う。議案第37号について、異議があるか。
[各委員] 異議なし。
[教育長] 異議なしと認める。よって議案第37号については意見なしとする。

【議案第38号】※非公開案件（10月18日時点、議案説明会開催前）

- [教育長] 議案第38号について事務局から説明を求める。
- [生涯学習課長] （議案第38号について説明）
- [教育長] ただ今の件について、質問等あるか。
- [尾畑委員] 大山会館が開館すると、現在の大山行政サービスセンターの施設は機能がなくなるという理解でよいか。
- [生涯学習課長] 大沢野地域も大山地域も、1つずつ拠点施設として、大沢野会館、大山会館が建設され、行政機能、公民館、図書館が入る形となる。
- [尾畑委員] 施設を複合化した際の使用基準はどうなるのか。
- [生涯学習課長] 地区コミュニティセンターと公民館は、料金などは同じだが、公民館は社会教育法に基づいており、地区コミュニティセンターとは異なっていた面がある。今回、同じ形にして公民館として使用することとなるが、今まで公民館としては使用できなかった用途についても、弾力的に運用していきたいと考えている。
- [教育長] 採決を行う。議案第38号について、異議があるか。
- [各委員] 異議なし。
- [教育長] 異議なしと認める。よって議案第38号については意見なしとする。
- [教育長] 以上をもって本日の会議は終了したが、その他、質問はあるか。
- [各委員] 質問等なし。

【閉会】

- [教育長] 閉会を宣言する。